

事業所名

放課後等デイサービス モッキー

支援プログラム

作成日

2025年

2月

25日

法人（事業所）理念		子ども一人ひとりを尊重・理解し「できる」「わかる」「得意」を大切に、自己発揮できる時間や空間・活動を組み立て、それらが将来へとつながる療育を行う。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> *自分でわかって活動できる環境づくりをする。（空間・時間の構造化、スケジュールやカードを使った視覚的な支援、自立課題など） *「療育＝あそび」と考え、一人ひとりにあった遊びを用意する。遊びの中にあられる子どもの成長をともに喜び、次のステップへとつながるように支援する。 *将来を見据えての自立した生活を目指した支援をする。 *おもちゃ遊び、おやつ、スケジュール（活動）など たくさんの選ぶ場面・選ぶ要素を用意し、自分で選ぶことをサポートする。その中で『リクエスト』すること、『交渉』することも経験して身に着けることができるよう支援する。（選ぶことも、選んだことを楽しむことも、「これがしたい」と選んだことを人に伝えることも大切。） *どの子にも、楽しい遊びを通じてたくさんの成功体験と人との心地よい関係を経験してもらえる環境づくりをする。 						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の手洗いの習慣化 ・検温 ・基本的な生活スキルの習得 （必要な手順書などを用意する） ・スケジュール確認 ・スケジュール交渉 ・スケジュール作成 （自分の体調や状態を理解し、スケジュールを使ってリクエストや交渉を行う） ・持ち物管理 （自分の持ち物の置き場が見てわかるよう、ロッカーなどにマークや名札をつける など） 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ遊びや自立課題、LaQでの創作活動（微細な運動） ・感覚過敏（感覚の特性）への対応 （静穏環境・一人になれる空間・イヤーマフ・オイルモーション など） 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・各コーナーでの活動の用意（構造化することで、どこで何をするのかわかって行動する） ・スケジュール（イラストや文字・写真カードなど一人ひとりに合わせたスケジュールを使うことで、自分が今どこで何をするのか理解して行動する） ・自立課題（ワークシステムを使って、自分で初めて自分で終え、次の活動へとつづる。一人ひとりの興味や好みに合わせた課題から、興味関心を深め広げる。） ・活動の終わりの折り合いをつける（タイマーやつづきBOXを使う） 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ（絵カードや写真カードでおやつを選び、自発的に要求をスタッフに伝える） ・スケジュール交渉・スケジュール作成（自己選択でスケジュールを選ぶ・自己決定でスケジュールを組み立てる。スタッフに要求や報告をし、いっしょに確認する） ・あそび（遊びの中で発生するやり取りなど） 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真カードを使った要求（リクエストしたことに応えてもらえる確かな手ごたえを感じて人間関係を構築する） ・あそびを通じた社会性（アナログゲームなど遊びからルールの理解やマナー、相手との折り合いの付け方など） ・遊びを通じた仲間づくり（共同の遊びの中から生まれる他者との共感の経験や他者理解や自己理解など） 						
家族支援		・面談や電話で、不安なことや困っていることなどの相談の機会を設けます。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所や就学先との情報共有や連携 ・ライフステージの切り替えや移行に向けての準備と引継ぎ 	
地域支援・地域連携		・担当者会議への参加と情報共有、役割の確認			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がその子理解、特性理解、支援方針等が共通理解できるミーティングを行う ・虐待防止 権利擁護の研修 ・支援に関する研修（内部・外部） 	
主な行事等		・外出体験						